

春日神社

社報 春日神社

第四十三号

発行日 令和7年6月10日

発行所 〒870-0031

大分市勢家町4-6-87

春日神社 宮司 宮本 隆之

TEL 097-532-5638

題字 東郷平八郎

もくじ

宮司挨拶／祭典ごよみ／夏季大祭
夏越大祓式・茅の輪神事のご案内
終戦80年 大分空襲／皇居清掃奉仕
有村治子氏寄稿／婚礼より

ご挨拶

宮司 宮本 隆之

御神木をはじめ境内の大きな楠の木々が今年も散り始めから約三か月を経て新しい葉へと生え変わり、鎮守の杜を美しく彩っております。日々時々の祭典と共に、このような季節毎の木々花々の色や香りに癒され奉仕できる有難さを感じております。

さて、本年は大東亜戦争終結八十年の節目の年であります。当社にて「武運長久」の祈願をして出征された方も多くあり、境内には忠魂碑が建てられていた関係で、毎年校区主催の慰霊祭が斎行されていきました。平成に入って碑の老朽化により小さく移築され年毎の校区慰霊祭も行われなくなっておりましたが、十年前の終戦七十年の節目の年に、神社主催にて慰霊祭・平和祈念祭を斎行しました。今年も十月の秋祭りに併せて慰霊祭を斎行し、大戦にて散華せられた英霊に慰霊の誠を捧げる年としたいと存じます。

また当社社殿も空襲により焼失し、二十余年の月日を経て現在の社殿竣工に至りましたが、戦後生まれの職員ばかりとなっており、現在を生きる者として、戦災復興に尽力された先人たちに感謝しつつ、後世に恥じることの無きよう継いで行けるよう境内整備の充実に努力して参りたいと存じます。

紙面にて記事があると存じますが、本年四月、令和の御代になり初めて皇居勤務奉仕に出掛けて参りました。コロナ禍の影響もあり、様々な制限などにより、まだ三日間の奉仕ではありましたが、団員十九名、天皇陛下よりお言葉を賜り感動感謝の旅でありました。一般参観や平素から出入り可能な東御苑では多くの外国人の姿が見られ、安全・安心として愛される「日本」を感じました。皇室の弥栄と皆様方のご健勝をご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。

祭典ごよみ

六月三十日 水無月 大祓式

七月十八日 夏季大祭 宵祭

七月十九日 夏季大祭 夏越大祭

七月十九日 夏季大祭 夏越大祭 神輿巡行

九月二十五日 撰社 天満社祭

十月十八日 秋季大祭 宵祭

十月十九日 秋季大祭 神幸祭

十月十九日 秋季大祭 神幸祭 潮搔き神事

十一月十五日 七五三祭

※当日に限らず、毎日祈願祭を奉仕しています

十一月二十三日 新嘗祭

十二月三十一日 師走大祓式・除夜祭

毎月一日・十五日は月次祭

夏季大祭

七月十八日(金)

こども神輿巡行

午後四時 宵祭

午後四時四十五分出御

(雨天時は二十日に順延)

十九日(土)

午前十一時 夏越大祭

神輿巡行

午後四時出御・午後九時四十分還御

当社祭典の中で一番規模の大きい行事である夏越大祭。氏子青年会では会長並びに総先導を中心にこの春より神輿会議を開始。本番に向けて現在準備を執り進めております。近年の課題として担ぎ手不足、酷暑とも呼べる高温が予想されます。担ぎ手につきましては氏子町内で取りまとめをおこなっていますので、ご参加の程お願い申し上げます。

※巡行路については神社ホームページにも掲載いたします。

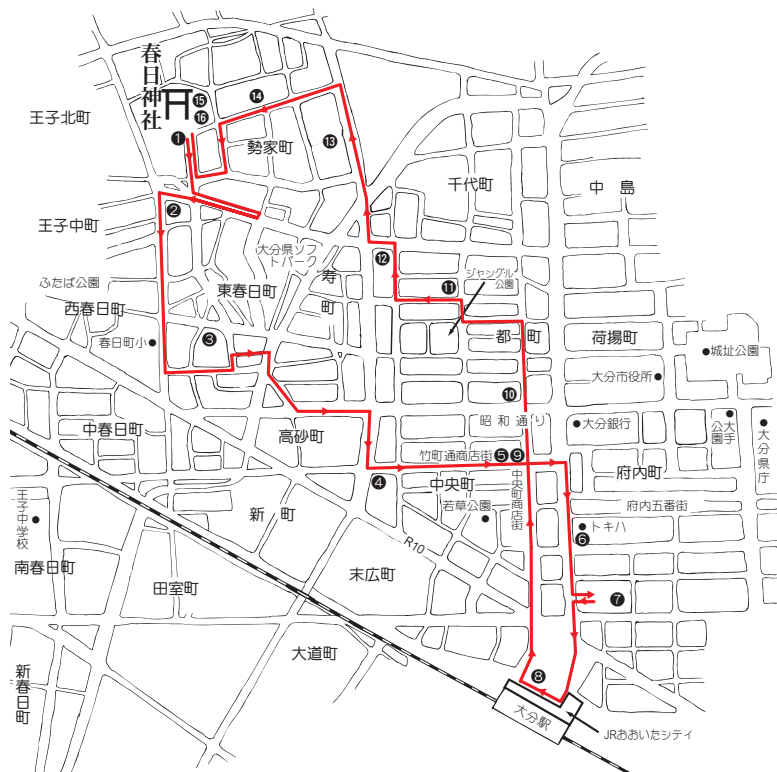
※両日とも庄内神楽の奉納が行われます。

※各企業の協力により境内や参道には例年通りの「奉燈」が灯されますので、どうぞご参拝の上ご覧頂きたいと存じます。

《御神輿巡行路》

出発式 15:40	③ JR大分駅 18:55
① 春日神社出御 16:00	⑨ ガレリア竹町ドーム 19:35
② 東春日・肉の木村屋 16:20	⑩ ホテル法華クラブ 19:40
③ 東春日・塚川病院 16:50	⑪ 都町・第一ビル 20:00
④ ガレリア竹町西口 17:25	⑫ モコ美容室 20:15
⑤ ガレリア竹町ドーム 17:50	⑬ 勢家・ポリエチレン加工所 20:25
⑥ トキハ本店 18:00	⑭ 勢家・松岡商事 20:55
⑦ 祝祭の広場着 18:10	⑮ 春日神社門前 21:30
(休憩・広場内) 18:50	⑯ 春日神社還御 21:40

- (注) ●みこしは御神体をお遷ししております。上から見おろすことなく、1階に下りてお参り下さい。
- 水をかけないで下さい。みこしがいたみまですし、かつぎ手がすべて危険です。
 - みこしを見ていただくのはかまいませんが、近づくと危険です。充分に間合いをとって下さい。



水無月（夏越）の大祓式 茅の輪神事のご案内

一年のちようど半分にあたる六月三十日は、この半年の間に知らず知らずして身についた罪穢れを祓い除いて、無病息災・厄難消除を祈る神事「大祓式」が全国の神社でおこなわれます。この日、神職の手により一本一本選り分けられたみずみずしい茅と青竹で作られた「茅の輪」が本殿前に設けられ「茅の輪神事」と呼ばれる行事が執り行われます。特に水無月の大祓式は「夏越の大祓」とも呼ばれ、

水無月の夏越の祓いする人は 千歳の命延ぶというなり



という古歌に歌い継がれているように、茅の輪をくぐることによって、元気に暑い夏を乗り切るとともに、新たに迎える半年をさわやかにまた清らかに過ごしていこうとする、私たちの祖先の生活の知恵とも言えるべきものです。

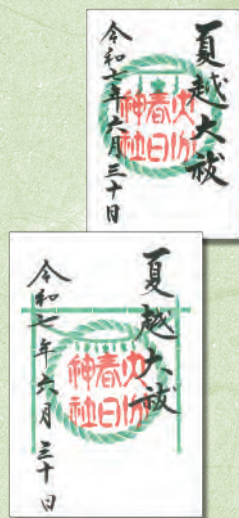
この水無月の大祓式は、茅の輪をくぐることで悪い流行り病から命を守るためにも行われてきました。この神事を受け、病気に負けない心と体を整えて過ごしてまいりましょう。

茅の輪のくぐり方



左まわり・右まわり・左まわりと、8の字を書くように三度くぐり抜けます。そうすると身も心も清らかに祓われると云われています。

○期間 六月三十日～七月十九日（夏季大祭）
○初穂料 五百円



夏越大祓限定御朱印

○期間 六月三十日 午後四時～
○初穂料 一千円
※ご用意数が無くなり次第に頒布を終了します。



茅の輪御守



期間ならびに数量限定で社頭にて頒布いたします。
夏越大祓特別祈願符

夏越大祓祈願祭

今年も一般希望者を対象とした大祓祈願祭を下記の通りに斎行致しますので、ご都合に合う日時をご確認の上、ご来社になり、お祓いをお受けください。

一、祭典日時

六月三十日（月）

・午後四時三十分～午後五時
・午後六時～午後六時三十分

七月一日（火）

・午後四時～午後五時
・午後六時

七月五日（土）

・午後三時～午後四時

七月六日（日）

・午後三時～午後四時

一、申込受付

・混雑を避けるため、先行予約をおこなっております。社務所までお問い合わせください。
・当日申込は各開始日時の十五分前までです。
・先着四十六名を超える場合はお待ちいただき、右設定時間に連続して執行致しますことをあらかじめご了承ください。

一、初穂料

お一人様（代表者） 三千円
※お連れのご家族様はお一人様 一千円となります。

【例】四人家族の場合 代表者 三千円
他三名 三千円 合計 六千円

※初穂料は当日、授与所での受付時にお納めください。

一、当日の流れ

- ①祭典前に受付にて人形（ひとがた）に氏名を記入
- ②神職による大祓詞奏上、切麻・大麻によるお祓い
- ③茅の輪くぐり
- ④御本殿にて祈願祭参列
- ⑤撤下品（おさがり）授与
- ⑥終了

※祭典は神職により執り進められます。所要時間は約三十分です。

茅の輪の起源

蘇民将来のおはなし

その昔、旅の途中で宿が見付からず困っている神様がいました。神様は、蘇民将来、巨旦将来という兄弟に宿を貸してほしいと頼みました。しかし弟の巨旦将来は、裕福な暮らしをしていたのに断り、兄の蘇民将来は貧しい暮らしをしていましたが、神様に宿を貸して食事を提供しませんでした。

そして数年が経ち、再び蘇民将来のところにその神様が訪れてきました。自分は「スサノオ」という神である事を伝え、あの時のように、茅の輪を腰に付けば逃れられるだろうとお教えになりました。すると数年後、その地域で疫病が流行したとき、茅の輪を腰に付けた蘇民将来の家族だけは助かったそうです。

（備後国風土記・二十二社註式（祇園社）、蘇民将来説話）

人事

採用

巫女 坂本心結

（令和七年四月一日付）

大東亜戦争終戦80年

～一夜で焦土となった大分空襲～

本年は大東亜戦争終戦八十年という節目の年です。ここ大分市も度重なる空襲を受け、特に昭和二十年七月十七日深夜の空襲は市街地のほとんどを焼失し、当社も社殿・神宝類はみな悉く戦火に失いました。今年この節目の年を迎えるにあたり、当時宮仕えをしていた宮本末彦先々代宮司の手記から読み取れる当時の生々しい状況に思いをさせ、当時の惨状を振り返ってみたいと思います。



平成 17 年 8 月 15 日 大分合同新聞朝刊 8 面より
(この図は大分合同新聞社の許諾を得て掲載しています)

県内最大となった大分空襲

昭和20年7月16日、午後9時すぎに警戒警報が発令。

先導機として先行した10機のB-29が17日0時12分から爆撃を開始し、それに続く本隊の117機のB-29が0時22分から1時32分にかけての約1時間10分の間に、M47A2焼夷弾22,922発を大分市街地中心部に投下した。

既に大分駅前から本町、堀川町までの約1,500戸が取り壊されるなど、建物疎開が進んでいたため、被害は比較的抑えられたが、それでもこの空襲による全焼家屋は2,358戸、半焼家屋は130戸に及び、10,730人が焼け出された。

また、死者49人、負傷者122人の多数の人的被害を出し、大分市の中心市街地は壊滅的な被害を受けた。

「第21爆撃軍団の報告書」より



焼失する前の明治41年改築の本殿（戦前の絵葉書より）。末彦氏は懸命に消火活動をしたが、一人では限界となり、大楠の根元に腰を落とし、燃えゆく本殿を見るしかなかった。



空襲後、トキハ屋上から大分市西部を望む。奥には高崎山が見える。



空襲後の大分市中心部。軍事施設をはじめ、官公庁や病院、銀行、デパート、師範学校など様々な施設も焼失した。



空襲前の大分市中心部。

●は春日神社

写真提供：平和のための戦争展inおいた実行委員会

時は昭和二十年七月十六日午後十一時頃である。二、三日降り続いた雨は昼過ぎからもちなおして、夜になってから晴れ上がりよい天気になった。

突如として「敵機襲来」と言う大声が聞こえたのですぐさま戸外に飛び出すと、東の空には大きな照明弾が煌々と輝き、けたたましい爆音が聞こえた。「来たな」と直感してそのまゝ御神殿にかけ込む。先ず御本社神の御霊代を防空壕に奉遷し、続いて各末社の御霊代を次々に奉遷し奉った。

この間、敵機二機が並行して東から西へ低空に跳び、滝水を流すが如く油を投下し、恰も大工の隅指のごとき固体から点々と燃え上がり、境内一面火の海となったがやがて燃え尽くした。

続いて敵機は東から西へ山の手から海の方へと基盤目型に繰り返し数十機から次々に焼夷弾が投下され、地面に落ちたものは、経四、五尺の落下孔の中で発火し、油とゴムと燐が周辺の樹木や建物に飛び散り炎を發した。樹幹や枝葉に当たって爆発したものは樹上に火花を散らし凄惨の極みであった。

やがて市街の中心部はもちろん東西南北四方八方より火の手があがり、次第に火勢を増して真昼のように明るく、この世の地獄というべく、壮絶悲惨言語に絶する有様であった。

私のこの間バケツを下げて何とかして此の危機を脱し、社殿を護りたいと走り回り、懸命に消化に努めたが遂に万事窮した。相前後して御本社及び末社金毘羅社に数発が命中して同時に火を發し手の施しようもない。広い境内には一人も見当たらないので、応援を求める術もなく、疲労と暑さとそしてゴムと燐と油の燃える煙にむせび、力尽き、大楠の根元に腰をおろし呆然と焼け落ちていく社殿を見つめて、溢れ落ちる涙を止め得なかった。

この空襲により当社境内に投下されたのは油脂二百五十トン、焼夷爆弾二百十三発で、内七発が発火した。

この空襲により焼失したのは命中弾四発を受けた御本社神殿、申殿、拝殿、透塀の一連の建物と、おなじく命中弾二発を受けた末社金毘羅社の神殿、拝殿で、直接命中しなかったため一時出火したが、消し止めたのは社務所、絵馬殿、倉庫であった。

七月十八、十九日は夏祭である。まだ焼け跡には残り火が時々ボーンと燃えあがり、白煙があちこちに立ち上って惨澹たる有様であった。

悲痛の中にも焼け残った神楽殿を清掃して御神輿を安置し十八日の夕刻御神輿を奉遷し奉り、戦災の御報告を申し上げると共に夏の祭典をとり行った。

第九回皇居勤労奉仕

今春、宮本宮司を団長に総勢十九名の団を結成。四月二十一日から二十五日まで五日間の日程で上京いたしました。平成三十一年の春以来六年ぶりとなる奉仕です。

実際に奉仕に入った三日間は全て皇居内となり、宮内庁楽部庁舎のほか、本丸跡周辺などを清掃。期間中には当社附属団体である蓬萊雅楽会の錬成会にご指導いただいたり、ある楽部の先生方とも再会の機会がありました。

こうした皇居勤労奉仕団を、天皇陛下も皇室と国民の接点の一つとして大切に受けとめられておられる由、最終日には御会釈を賜りました。

大変ありがたく、団長以下謹んで劳いの御言葉を頂戴いたしました。



実は知らない

皇居勤労奉仕のはじまり

いつ始まったのか

昭和二十年五月の空襲で焼失した宮殿の焼け跡を整理するため、宮城県栗原郡（現・栗原市）の有志が奉仕を申し出たことに始まる。

栗原郡出身の鈴木徳一氏は終戦直後、進駐軍が闊歩している荒廃した二重橋前広場や周辺の惨状を目にした。皇居内も明治宮殿をはじめ建物は破壊され、空襲以来、手つかずの状態。瓦礫と雑草に覆われていた。その現状に心痛差し迫るものが込み上げ、青年団活動として皇居外苑の草刈奉仕を構想する。

「みくに奉仕団」を結成

栗原郡は戦時中、堆肥増産促進のための草刈コンクールで全国優勝をした地域。腕に自信のある草刈作業での奉仕が目的だった。鈴木氏は同郷の後輩である長谷川峻氏（元国務大臣秘書官）の協力を得て、宮内省に皇居外苑の草刈の許可を求め認可をいただいた。何分占領下での行為であるため決死の覚悟だった。総員六十二名から結成した「みくに奉仕団」は二十代前半の青年男女が大半であり、靴や地下足袋、学生服にジャンパーと服装もバラバラだった。

奉仕内容は意外にも皇居内

上京した奉仕団に宮内省から通達されたのは、皇居外苑の草刈ではなく焼亡した宮殿の整理だっ

た。当時、皇居内には参内できるのは政府の要人に限られ、民間の農民が許可されることは絶対にありえなかった。従って、この予期せぬ事態に一同の喜びは大変なものだった。

天皇皇后両陛下のお出まし

作業初日、なんと作業場へ両陛下がお出ましにいられた。天皇陛下はだいたいぶおやつれのご様子。両陛下からは郷里の様子、食糧事情、不自由なこととは無いか等のご下問に及び、最後には御礼と「なにとぞ国家再建のために、たゆまず精を出して努力してもらいたい」との御言葉を賜った。

皇室と国民との関係において、一大転機となった瞬間である。感動に打ち震えた奉仕団は三日間、皇居から二十キロも離れていた宿より毎日通い、朝から日が暮れるまで懸命に働いた。

受け継がれる奉仕の心

奉仕最終日、青年たちは皇居で刈った草を土産に持ち帰ることを宮内省に願い出る。それはこの草を肥料とし、自分たちの故郷の畑と皇居を結びつけたという気持ちの表れだった。帰郷後、この奉仕団の話は新聞社の知るところとなり、全国に発信された。記事を受けて全国に奉仕団が結成され、昭和二十六年には一年で四万人が奉仕している。

終戦当時、自分が食べるものがあるかないかが最大の関心事であるときに、多くの人の復興の拠り所として皇室の存在がありました。この時の出来事が、現在でもご会釈として続いており、可能な限り天皇皇后両陛下が勤労奉仕の労を労っておいでです。

「国家」を丁寧語り、行動したい



参議院議員 比例代表(全国区)選出
神道政治連盟国会議員懇談会 副幹事長
有村治子

来たる参議院選挙に向けて、全国統一候補としての推薦を機関決定頂きました神道政治連盟はじめ神社界の同志の皆様には、いつも温かいご指導とご支援を賜っておりますことに、衷心より御礼を申し上げます。

お育て頂いて参議院の議席を四期お預かりする中、私が自由民主党を代表して臨んだ本会議場での国会質問や、NHK全国中継のある総理・閣僚への論戦では、例えば次のようなテーマを論じて参りました。

- ・万世一系の皇統を守ることの価値と、皇位継承の伝統を堅持すること
- ・占領下に制定された憲法の問題点と具体的改正案
- ・歴代総理の歴史認識と戦没者追悼のあるべき姿
- ・教科書における領土教育の拡充
- ・政教分離の原則と、被災地での「心の復興」の具現化
- ・敬意をはらうべき自国と他国の国旗掲揚の国際マナー
- ・日本の主権や領土を保全するための海洋安全保障
- ・覇権を狙い横暴を繰り返す中国に対する、我が国の毅然とした主張・反論
- ・史実や歴史的根拠を踏まえない慰安婦問題の是正、教科書記述への牽制
- ・国力の基盤をなす科学技術の振興と、技術流出への対応
- ・分断に晒される沖縄に留意し、日本と沖縄双方を慈しむ国民層を増やすこと等です。

国民生活の安全、国旗や国歌、国土や領海の保全、日本の国柄など、様々な分野の政治課題を取り上げていますが、常に共通しているのは、「国家」「国民」という日本全体にとつての安全性や公益・尊厳をどう確保し、具現化するか、という視点です。「国

会議員が国家観を持つのは当然だ」と思われるかもしれませんが、残念ながら国会において、激動の世界で日本が生き抜く国家戦略が、論戦の中心になっている訳では必ずしもありません。

事実、戦後の日本では、自らの生存と暮らしの土台となる国の安全や国土の保全について、強い思いを致さずとも、平和と経済的繁栄・国際的地位を手にすることができました。とても幸運なことでした。しかし、日本をとりまく内外の現実を直視し、日本の安全をどう創り固めなすかを「国家」という視点で真面目に論じようとしただけで、右翼やタカ派とレッテルを貼られる時代が長く続いた弊害も出ています。自分達の安全確保の方策をともに議論すらできないとしたら、これは不幸なことであり、随分危険なことでもあります。

戦争の反動で大きく揺れた戦後教育、とりわけ近現代史、アジアの歴史等をいかに教えるかという問題は、イデオロギー対立における右・左双方にとつての核心的論点であり、教育現場においては、先生方がこの単元を教えないことによつて、思想的対立のリスクを回避する風潮も続いてきました。ゆえ、自戒の念を含めますが、国民の八十七％が戦後派世代となつた今、少なからずの国民が、必ずしも近現代史への包括的な理解・認識を得ないまま、国際社会における日本の世論を形成しています。かつて日本と米国が戦火を交えた事実すら、知らない小学生も少なくありません。

国の根本法規である憲法についても、「改正」か「護憲」かの固定的な攻防にエネルギーが割かれてきた一方、日本を取り巻く脅威について具体的に論じる風土が醸成されてきたのはつい最近のことです。来年は戦後八十年の節目を迎え、「自主憲法の制定」を旗印に自由民主党が結党して七十年となります。

私に課せられた使命は、先人が織りなしてきた時間軸に敬意を払い、イデオロギー対立やレッテル貼りに巻き込まれることなく国家や国民性を自らの言葉で真摯に語り続け、「日本応援団」の共感や世論を、丁寧についでいくことだと考えます。

国家を丁寧に語るためには、自らの政治信条や思想的立場を主張するだけではなく、学術的にも、歴史の評価にも耐えうる論拠を生み出す探究が求められます。地に足をつけた研究を続け、保守政治家として国家を丁寧に語り、国民的共感を頂ける言動を重ねていきたいです。

今年七月に行われる参議院 比例代表(全国区)選挙に向けて、神道政治連盟は有村治子さんを全国統一候補として推薦することを機関決定しています。

参議院 比例代表(全国区)選挙は、北海道から沖縄まで全国四十七都道府県にお住まいの有権者の皆様に、候補者個人名で投票頂ける選挙制度です。



春日神社

格式高い和洋折衷ウェディングを

一日一組限定

鎮守の杜に佇む厳かな社殿での神前式
クラシカルモダンな会場での披露宴
大切な方々からの祝福に包まれて
お二人らしいあたたかな一日に

【お問い合わせ】

春日神社 婚礼係まで
TEL 097-532-5638



金銀系の刺繍が華やかな
一目惚れした色打掛



小さな頃からの憧れ
純粹で凜とした白無垢